

■第 62 回北海道スキー技術選手権大会兼

■第 62 回全日本スキー技術選手権大会北海道予選会 開催要項

1. 主催 公益財団法人 北海道スキー連盟

2. 協力 ルスツリゾート
ニセコスキー連盟

3. 目的

所属団体から選抜された選手により、スキー技術の演技を競い、技術向上の促進に資することを目的とし、全日本スキー技術選手権大会への派遣選手を選考する。

4. 会期 2025 年 1 月 31 日(金)～2 月 2 日(日)

5. 会場

ルスツリゾートスキー場
〒048-1711 虻田郡留寿都村泉川 13
(選手受付 サウスウイング 1F ルスツアリーナ)

6. 本部および現地本部

ルスツリゾートホテル・大会事務局
TEL 0136-46-3331

7. 参加対象

- (1) 2025 年度の SAJ 会員登録を完了している者。
- (2) 日本国籍を有し 2025 年 4 月 1 日時点で男女とも満 16 歳以上(高校生以上)の者。
- (3) SAJ 級別テスト1級以上の資格を有している者。
- (4) 各種損害保険に加入済みの者。
- (5) 上記条件を満たし、所属団体長(加盟団体会長)の推薦を得た者。
(資格証明・会員登録番号・傷害保険の欄は必ず記入すること)

8. オープン参加の取り扱いについて

- (1) 北海道スキー技術選手権大会には、日本国籍を有していない者にもオープン参加を認める。
ただし、以下の条件を付する。
 - ア. 本大会申込み時点で男女とも満 18 歳以上の者。
 - イ. SAJ 級別テスト1級以上の資格を有している者。

ウ. 各種傷害保険に加入していること。

エ. 上記条件を満たし、所属団体長(加盟団体会長)の推薦を得た者。

(2) 順位に関わらず全日本スキー技術選手権大会には参加できない。

(3) 決勝出場枠の人数には含めない。

9. 参加料

一般の部(高校生含む) 14,000 円

10. 参加申込み・提出書類

(1) デジエントリーでの申込みとする。

ア. 申込み URL。

<http://dgent.jp/>

イ. 上記 URL 右側の(公財)北海道スキー連盟より、本大会の申込みが可能。

ウ. 細部申込要領については、「デジエントリー手続のご案内」参照。

※別途デジエントリー利用料・決済手数料がかかる。

エ. 申込み期日

2025 年 1 月 3 日(金)～1 月 17 日(金)

(2) 提出書類及び送付先

ア. 参加者は、必要書類を添えて所属する各加盟団体へ申し込むこと。

※ ユース(高校生)も各加盟団体が主催している予選会から出場し、予選通過者が北海道大会に出場できる。(予選会がない加盟団体は加盟団体から推薦を受けた者とする)

イ. 提出書類

① 参加申込み書。(所属加盟団体会長印を押印)

② シクミネット電子会員証の写し

③ 1 級またはプライズテスト資格での参加者は合格証の写し

※ 加盟団体は申込書類一式(高校生も含む)を取りまとめ、参加者名簿一覧表(男女各 1 部、監督・コーチ・担当者の氏名・電話番号を記載のこと)を添えて道連に送付すること。その際、2025 年度 公益財団法人 全日本スキー連盟会員登録手続きが完了されていることを、加盟団体責任の下、必ず確認すること。

ウ. 送付先住所

〒062-0904

札幌市豊平区4条5丁目1-18

(公財)北海道スキー連盟

「北海道スキー技術選手権大会係」宛

TEL 011-820-1780

FAX 011-820-1781

エ. 書類提出締切

2025年1月17日(金)道連必着厳守

※ 申込み締切日までにデジエントリーされていない場合は、加盟団体からの参加者名簿に記載があったとしても、受付しませんので注意すること。

(3)宿泊申込み

加盟団体で宿泊者名簿一覧を作成し、直接ルスツリゾートホテル・北海道スキー技術選手権大会宿泊担当者に申し込みのこと。

11. 日程

1月31日(金)コートオープン

2月1日(土)予選競技3種目

2月2日(日)決勝競技3種目・スーパーファイナル1種目

詳細なタイムスケジュール及び競技種目は北海道スキー連盟のホームページに掲載する。(1月上旬～中旬予定)

12. 競技規則

北海道スキー技術選手権大会競技規則による。

(全日本スキー技術選手権大会に準ずる)

【用具の使用に関して】

- (1) 全日本スキー連盟公式用品委員会において認定された用具・用品を使用し、それ以外は認めない。
- (2) 選手が着用を許されるウェアは市販品でルーズフィットなものとし、レーシングスーツ(ワンピース)の着用を認めない。
- (3) 競技中は頭部を保護するため、全ての競技種目において必ずヘルメットを着用すること。
- (4) 上記に違反した者は失格とする。
- (5) 本大会において使用スキーは大回り系小回り系の2台とするがマテリアルチェックは行わない。

13. 部別

(1)男子の部 (2)女子の部

14. 表彰

男子10位、女子6位まで表彰する。

(男女とも1位は優勝杯、1位～3位まではメダル)

15. 出場枠

- (1)決勝 男子 90 位タイ /女子 30 位タイ
- (2)スーパーファイナル 男子 40 位タイ /女子 25 位タイ
- (3)全日本 推薦ナショナルデモンストレーター含む全日本スキー技術選手権大会の規定に準ずる。(補欠男女各 1 名)

16. 順位の決定及び全日本の出場について

- (1) 総合成績は、予選・決勝・スーパーファイナルの合計点で決定する。
- (2) 総合成績により同順位の場合は全日本出場枠までを次の方法により決定する。
 - ① スーパーファイナル種目の得点の高い者とする。
 - ② 決勝競技合計得点の高い者とする。
 - ③ 上記の②で決しないときは、決勝競技における種目別最高得点の高い者とする。
 - ④ 上記の③で決しないときは、抽選とする。
- (3)現ナショナルデモンストレーターは全日本スキー技術選手権大会北海道代表選手として推薦とする。ただし、次の内容を遵守すること。
 - ①北海道スキー技術選手権大会兼全日本スキー技術選手権大会北海道予選会にエントリーし出場する事。
 - ②ただし、怪我や体調不良による欠場、大会期間中のアクシデントによる途中棄権等があった場合、大会組織委員会の承認を受け推薦とする。
- (4)全日本の出場権を得た者は、北海道スキー連盟の合宿に参加するものとする。

17. 監督・コーチの登録

監督・コーチの登録は参加者名簿の記載をもって登録とする。選手は監督を兼ねることができる。

(競技中の抗議は、監督及びコーチのみ行なえる)

18. 問い合わせ先

強化部部长 今泉 英明